

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2004-2247(P2004-2247A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2002-169188(P2002-169188)

【国際特許分類】

C 07 C 45/64 (2006.01)

C 07 C 45/82 (2006.01)

C 07 C 47/575 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 45/64

C 07 C 45/82

C 07 C 47/575

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月2日(2008.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

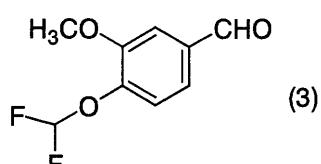
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

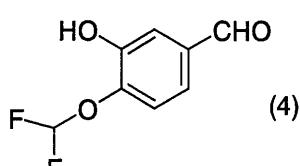
下記式(3)

【化1】



をアルカリ金属塩の存在下に反応させることを特徴とする下記式(4)

【化2】

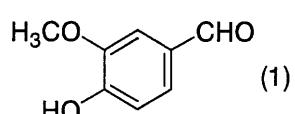


で表される4-ジフルオロメトキシ-3-ヒドロキシベンズアルデヒドの製造方法。

【請求項2】

下記式(1)

【化3】

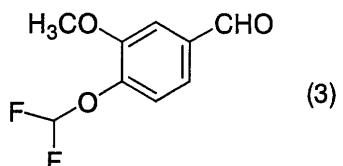


で表されるバニリンを式(2)

$\text{C}_6\text{H}_4\text{F}_2 - \text{Y}$ ($\text{Y} = \text{Cl}, \text{Br}, \text{I}$) (2)

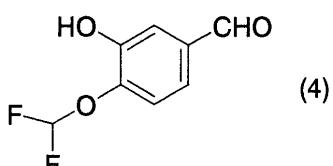
で表されるジフルオロハロカーボン化合物及び塩基の存在下に反応させて下記式(3)

【化4】



で表される化合物を合成し、次いで式(3)で表される化合物をアルカリ金属塩の存在下に反応させることを特徴とする下記式(4)

【化5】



で表される4-ジフルオロメトキシ-3-ヒドロキシベンズアルデヒドの製造方法。

【請求項3】

Y が、塩素原子である請求項2記載の製造方法。

【請求項4】

式(3)で表される4-ジフルオロメトキシ-3-メトキシベンズアルデヒド及び式(4)で表される4-ジフルオロメトキシ-3-ヒドロキシベンズアルデヒドを含む反応混合物から、式(4)で表される4-ジフルオロメトキシ-3-ヒドロキシベンズアルデヒドを蒸留により精製する請求項1または2に記載の製造方法。